

国境・アイデンティティを超える 公開高等教育

2024年
12月4日(水)
13:30~17:15

放送大学附属図書館3階 AVホール ※Zoomで配信予定

参加には事前登録が必要です(入場無料)。
以下申請フォームからお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_poKHcr11SuOKrIsYZ17evA



プログラム

司会進行 林徹 副学長

13:30 開会挨拶

岩永雅也 学長
中川一史 次世代教育研究開発センター長

14:00 セッション1

Dr. Rahmat Budiman
(テルブカ大学、インドネシア)
"Lesson learned from Universitas Terbuka: Providing quality education across the border"
コメント: 大橋理枝 教授



15:00 休憩

15:30 セッション2

Prof. Kutlay Yagmur
(ティルブルク大学、オランダ)
"Promoting diversity policies in higher education: Aims of inclusive education programs in the Netherlands"
コメント: 山田恒夫 教授



16:30 ラウンドテーブル

Dr. Rahmat Budiman, Prof. Kutlay Yagmur
青木久美子教授、大橋理枝教授、山田恒夫教授

17:10 閉会挨拶

里見朋香 理事

1983年、放送大学は、学びたい人が、いつでも、どこでも学べる開かれた大学というミッションの下、設立され、1985年に放送番組をスタートさせました。当時、テレビ放送は、世界の公開大学でも同じように教育活動において中心的な役割を担っていました。また、それは、どこにいてもテレビ受像器さえあれば授業を受けられるという、当時の革新的な教育のスタイルを象徴するものでした。

それから約40年の間、放送番組は多くの人に利用されるようになった一方で、インターネットの出現によって、世界中に情報が届けられるようになり、また、国際的な人の移動が活発になりました。このような中、放送を前提に設計された教育システムは、形を変えて進化する局面にあります。

放送大学が、従来のミッションを果たすためにも、日本の外で暮らしている人々、そして海外にルーツを持つ人々にも、積極的に教育を提供していく必要があります。

このシンポジウムでは、これらの分野で先行するインドネシアのテルブカ大学とオランダのティルブルク大学の経験と知識を手がかりとし、放送大学の活動範囲を広げる取り組みについて検討します。

問い合わせ先

放送大学 総務課国際連携係

E-mail: kokusai@ouj.ac.jp